

アーティスト・プロジェクト #2.02

北野 謙：光を集める

2017/10/7[土] - 12/10[日]

休館日：月曜日(10/9は開館) 開館時間：10:00-17:30

埼玉県立近代美術館

1階ギャラリー 無料

北野謙の写真を見る。

人間について考える。

都市について考える。

自然について考える。

人類が登場する前の地球を想像する。

人類が滅亡した後の地球を想像する。

地球が誕生する前の宇宙を想像する。

地球が消滅した後の宇宙を想像する。

地球外生物との交流を想像する。

機械的知性との交流を想像する。

絶対的他者との交流を想像する。

再び、自然について考える。

再び、都市について考える。

再び、人間について考える。

再び、北野謙の写真を見る。

[左]《「光を集めるプロジェクト」より埼玉県立近代美術館屋上から(西)2015冬至-2016夏至》2017年(プリント制作)/作家蔵

[右]《「光を集めるプロジェクト」より埼玉県立近代美術館屋上から(東)2015冬至-2016夏至》2017年(プリント制作)/作家蔵



本展は現在制作中の二つの新作と、1990年代の初期作品から構成される。

〈光を集めるプロジェクト〉は、各地にカメラを設置して、[冬至-夏至]を含む約半年間、太陽の光跡を地平線とともに長時間露光で写真撮影している。太陽の軌道は地球の公転により日々少しずつ位置を変える。雨の日や雲でとところどころ切れ切れになりながら、無数の光跡がバーコードさながらの直線や破線としてフィルム上に立ち現れる。埼玉県立近代美術館の屋上にも2015年12月から東西にカメラを設置した。

もう一つの新作〈未来の他者〉は、婦人科クリニックと患者さんたちのご協力を得て、生まれて間もない新生児を撮影している。一枚の印画紙に暗室で複数のネガを多重露光するレイヤー(集積)の手法は、以前の肖像作品〈our face〉シリーズと同様である。たくさんの他者を一つのイメージに見ようとするこの手法にたどり着いたきっかけの一つに、90年代後半にメキシコで見たディエゴ・リベラの群像壁画がある。今回「ディエゴ・リベラの時代 メキシコの夢とともに」展と会期が重なることは嬉しい偶然である。

二つの新作を繋ぐように90年代の作品〈溶遊する都市〉から数点展示する。この作品をまとめるようにすすめてくださり、一緒にタイトルを考えてくださったのは写真批評家の福島辰夫先生であった。福島先生はかつて瑛九とともにデモクラート美術家協会で活躍された。埼玉県立近代美術館は瑛九ゆかりの美術館であり、このことも少し偶然を感じる。新作はそれぞれ宇宙と新生児という異なるベクトルを持っている。さまざまな他者(そこには地球外生命体やAI、死者といった意思疎通が不可能あるいは反人間的な他者も含まれる)を想像し、彼らとのコミュニケーションについて考えることは、芸術のひとつの使命だと思っている。 北野 謙



《「未来の他者」シリーズより 新生児 layer no.1》2017年/作家蔵

「アーティスト・プロジェクト#2.0」は、埼玉県立近代美術館が、2016年度に開始した新しいプログラムです。2003年にMOMASコレクション(収蔵品展)の枠内で立ち上げた、収蔵作家による「アーティスト・プロジェクト」を、MOMASコレクションから独立した企画へと発展させ、収蔵作家という制約にとらわれず、活躍中のアーティストを選出します。第2回目となる今年度は、写真家の北野謙を迎え、「アーティスト・プロジェクト #2.02 北野 謙:光を集める」を開催します。写真を、近代を、人間を、根源から問い直す、3つのシリーズによる充実の展示を、どうぞお見逃しなく。

北野 謙/Ken Kitano

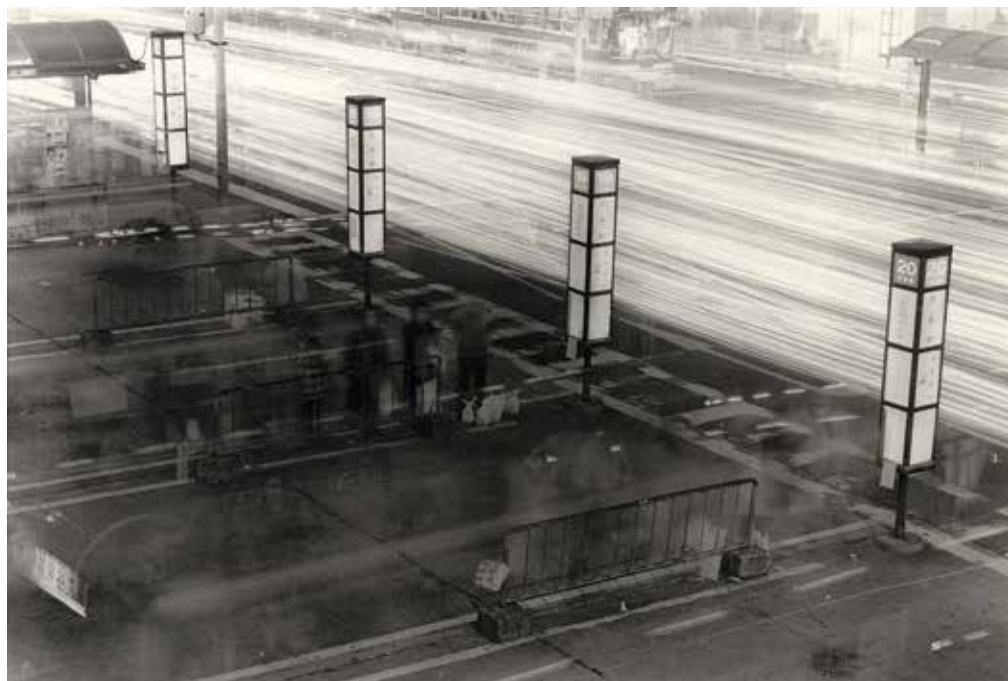
写真家。1968年 東京都生まれ。日本大学生産工学部数理工学科卒業。

東京の街を長時間露光で撮影した作品〈溶遊する都市〉シリーズで初個展(I.C.A.C.ウェストンギャラリー/東京/1994)。世界各地のさまざまな文化や立場の集団を訪ね、数十人の肖像を暗室で多重露光して一枚の写真に焼き付ける〈our face〉シリーズで東川写真賞新人賞、岡本太郎現代芸術賞特別賞、写真の会賞等を受賞。2012年に文化庁新進芸術家在外研修員としてアメリカに1年間滞在。

主な個展 | 「our face-prayers」PACE/MacGILL gallery (ニューヨーク/2015)、「Now, Here, and Beyond」ROSE GALLERY (ロサンゼルス/2015)、「our face: Asia」MEM(東京/2013)、「our face」三影堂撮影芸術中心(北京/2010)、「one day」MEM(大阪/2009)。

主なグループ展 | 「エック・ホーモ―現代の人間像を見よ」国立国際美術館(大阪/2016)、テグ・フォト・ビエンナーレ(韓国/2016)、「日本の新進作家展 vol.10 写真の飛躍」東京都写真美術館(東京/2011)、「写真の現在3―臨界をめぐる6つの試論」東京国立近代美術館(東京/2006)。

パブリック・コレクション | 東京国立近代美術館、国立国際美術館、東京都写真美術館、愛知県美術館、川崎市市民ミュージアム、北海道東川町文化ギャラリー、清里フォトアートミュージアム、ティッセン・ボルネミッサ現代美術財団(オーストラリア)、アイルランド現代美術館、ネルソン・アトキンズ美術館(カンザスシティ、アメリカ)、サンフランシスコ近代美術館(アメリカ)



《「溶遊する都市」より 渋谷駅 東京 1992》2009年(プリント制作)/作家蔵

アーティスト・プロジェクト #2.02 北野 謙:光を集める

2017年10月7日[土]-12月10日[日] 休館日:月曜日(10/9は開館) 開館時間:10:00-17:30

埼玉県立近代美術館 1階ギャラリー 無料

主催:埼玉県立近代美術館 協力:JR東日本大宮支社 出品協力:MEM Inc. 東京造形大学写真専攻領域

All images ©Ken Kitano, courtesy MEM

●アーティスト・トーク:11月5日[日] 16:00-17:00 1階ギャラリー 無料

企画展「駒井哲郎 夢の散策者」9/12[火]-10/9[月・祝] (2階展示室 有料)

企画展「開館35周年記念展 ディエゴ・リベラの時代 メキシコの夢とともに」10/21[土]-12/10[日] (2階展示室 有料)

MOMASコレクション 第3期 10/7[土]-12/24[日]:「セレクション:ピサロとか岸田劉生とか」「描かれたこどもの世界」

「明治・大正の日本画―江森天寿を中心に」「近代浦和・文化の景色」(1階展示室 有料)

JR京浜東北線 北浦和駅西口より徒歩3分(北浦和公園内)

JR東京駅、新宿駅 ▶▶▶ 北浦和駅 ●それぞれ約35分

▶当館に専用駐車場はありませんが、提携駐車場「三井のリパーク 埼玉県立近代美術館東」では駐車料金の割引があります(企画展観覧で300円引き、MOMASコレクション観覧で100円引き)。団体バスは事前にご相談ください。

▶お体の不自由な方のご来館には業務用駐車場を提供いたします。ただし、台数に限りがありますので予めご了承ください。

〒330-0061 埼玉県さいたま市浦和区常盤9-30-1

TEL 048-824-0111 FAX 048-824-0119 [代表メール]p240111@pref.saitama.lg.jp

[ホームページ] www.pref.spec.ed.jp/momas/

「MOMAS(もます)」は埼玉県立近代美術館(The Museum of Modern Art, Saitama)の略称です。

わたしをひらく MOMAS Kita-Urawa

35th ANNIVERSARY / MOMAS 開館35周年

